

浜松歯科衛生士 専門学校

☆☆☆
学校だより

梅のつぼみも膨らみはじめ春の兆しも少しずつ感じるようになりました。学校は1年間のしめくりの季節です。歯科の知識のなかった1年生はたくさんの教科書と格闘しました。2年生は学んだ知識や技術を学外実習でさらに確かな学びに繋げることができました。3年生は春からプロとして輝くために、目前に迫ってきた国家試験合格を目指しラストスパートをかけています。今回はそれぞれの1年を振り返ってもらいました。



3年 古橋 沙耶

去年の春、国対班での勉強が始まり3期の臨床実習や来年3月に迎える国家試験へのさまざまな不安を抱えながら、いつもとは少し違う気持ちで4月を迎えました。

国対班のリーダーとして、少しでも国家試験対策の時間を有意義に使えるように毎日少しずつ家での勉強を始めました。

2期、3期と臨床実習を重ねていく内に視野が広がり効率よく動けるようになり、現場でしか感じる事の出来ない患者さんとの関わり方など、本当に多くのことを学びました。また、国試の勉強を進める中で、実習先で見たこと、教えていただいたことが自らの勉強の理解を深めることに繋がっていると気づき、臨床実習の大切さを学びました。

10月に行われた課題研究では大勢の前での発表は不安や緊張がありましたが、発表後は達成感を感じ、とても良い経験になりました。そして、今は国家試験に向けて毎日国対班で勉強をしています。班で問題を出しあって、お互いの分からない事をみんなで潰していくことで、模試で解ける問題が増えました。点数が上がる日もあれば、点数が下がって凹む日もありますが、最後まで諦めず気を引き締めて続けていきたいと思っています。

コロナ禍の中、実習出来たこと、修学旅行に行けたこと、国試勉強が出来る環境に感謝をして残り約1ヶ月必死に勉強していきたいと思っています。



3年 鈴木 夕花

現場の歯科衛生士の皆さんの動きや、アドバイスからは学ぶことが多く、少しでも知識と技術をつけ成長できるようにと、取り組んだ臨床実習生活でした。昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響もある中で私たちの実習を受け入れ、指導して下さった臨床実習先の先生や歯科衛生士の皆様に感謝しています。

課題研究、修学旅行も終え私たち3年生は国家試験に向けての対策が本格的に始まっています。わからないことが多い中、私たちの質問を丁寧に答えてくださる学校部の先生方、伸び悩む教科を把握し寄り添ってくれる担任の先生に私たちは支えられています。そして私が頑張ろうと思えるのは班の仲間が助けられているからだと思っています。私にわかるまで教えてくれ、助けてくれているからこそ、ここまですることができました。一緒に頑張れる仲間の存在はとても心強く大きな力になっていると感じています。自信を持って国家試験当日を迎えることができるよう、クラスのみならずみんなで頑張っていきたいです。



1年 田島 梨奈

入学してからの1年は長いようであつという間でした。4月、緊張しながら教室に入り自分の席に座った時、正直不安な気持ちの方が大きかったです。けれども、入学式でのクラスメイト全員の顔を見た時、これから3年間、皆で同じ夢に向かって頑張っていきたいと自然と前向きな気持ちになれたことを覚えています。

授業では医療の基礎を1から学習しました。初めて聞く専門用語や難しい言葉に最初はとても戸惑いました。しかし、自分に合った学習方法を見つけたりして、基礎をしっかりと身に付けられるよう毎日努力しました。

実習では慣れない手や指先の動きに何度も苦労しましたが、先生にアドバイスをいただきながら、1つ1つ歯科衛生士としての専門的な技術の習得を目指しました。生徒同士で行う相互実習で、今まで学習してきた知識や技術を活かした時は、自分も本物の歯科衛生士に少しずつ近づいているのだと実感することができました。また、自分が患者役になることで得られる新しい気づきを今後どう活かしていくのかも考えられるようになりました。

初めは何も分からないゼロからのスタートでしたが、クラスメイト全員と共に大きく成長できた1年だったと思います。そして、自分の目指す理想の歯科衛生士像が、授業や実習を通して明確になってきました。これからはより一層努力し、新しいことにも前向きに取り組んでいきたいと思っています。



2年 袴田 朱音

もうじき1月も終わり2年生の終わりが近づいてきました。振り返って、昨年と比べると非常に充実しておりその分大変なことも多い1年間でした。さまざまな実習があり学んだことを応用する機会が多かったです。

健康教育実習と患者実習では、相手が理解しやすいように正しく伝えることの難しさを実感しました。解剖実習見学では教科書で学んだ筋肉や臓器を実際に見せていただくのと同時に命の尊さを感じることができました。今行かせていただいている臨床実習では診療の補助をしたり実際に治療の流れを見てレポートを書いたり毎日学ぶことがとても多くあります。臨床実習は3年生になっても続くので知識や技術を身につけられるように引き続き頑張りたいです。

感染症により今年も運動会や遠足などの行事も無くなってしまいましたが、来年こそは感染症も収まりより一層充実した最後の学生生活を送れることを願います。

